

## 令和元年度 大阪府立信太高等学校 第3回学校運営協議会議事録

1 日時 令和2年1月24日(金) 14:00~16:00

2 出席者の氏名(敬称略)

竹本 加奈(P T A会長) 福喜多 弘(信太中学校校長)  
児玉 有里絵(後援会) 堀古 弥生(堀古医院)  
安原 佳子(桃山学院大学教授) 木村 重房(桃山学院大学講師)

3 議題

- 平成31年度学校経営計画及び学校評価(案)
- 令和2年度学校経営計画及び学校評価(案)

4 協議内容

- 令和元年度信太高校の教育活動について
  - ・35期生進路状況報告 進路指導主事より説明
  - ・授業アンケート報告 校長より説明
  - ・学校教育自己診断報告 首席より説明
- 平成31年度学校経営計画及び学校評価(案)について
  - ・この数年間で、授業改善や支援関係、生徒指導について成果が出ている。次年度以降はこれらはどう学校生活の楽しさや充実に繋げていくかが重要である。
  - ・学校行事の充実が学校生活の充実に繋がる。文化祭等の学校行事のなかで、新しい取り組みがあればよいのではないか。
  - ・学校行事をどのように社会とつなげられるかが課題だと感じる。社会に出て必要なプレゼンテーション能力を養成するととても良い機会なのでうまく生かしてほしい。
  - ・生徒たちが企画、立案するなど、生徒主体の学校行事ができればよいのではないか。
- 令和2年度学校経営計画及び学校評価(案)について
  - ・「ポジティブ行動支援」が教員間に広がり、さらに保護者にも広がっていけば、生徒の笑顔が増えることになるだろう。
  - ・部活動加入率が減少しており、改善が必要である。
  - ・中学校でも部活動加入率は年々下がっている。個人競技に比べ、団体競技のクラブが伸び悩んでいる。
  - ・部活動加入率は必ずしも高ければ良いというものではない。家庭状況等によっては部活動ができない生徒がいることも考慮しなければならない。
  - ・部活動だけではなく、スポーツコースの所属人数も減少傾向にある。部活動のあり方、スポーツコースのあり方についても検討が必要である。
  - ・生徒が幅広く部活動を経験する機会をつくってあげてはどうか。

5 議決事項

平成31年度学校経営計画及び学校評価(案)及び 令和2年度学校経営計画及び学校評価(案)の「めざす学校像」「中期的目標」について、承認を得た。